

第7回旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会

日 時：令和3年7月1日（木）

午前10時～正午

場 所：市役所本庁舎7階全員協議会室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

- | | | |
|-------------------|------------|-----|
| (1) 市民ワークショップについて | ・・・・・・・・・・ | 資料1 |
| (2) 市民アンケートについて | ・・・・・・・・・・ | 資料2 |
| (3) 比較・評価項目について | ・・・・・・・・・・ | 資料3 |

4 その他

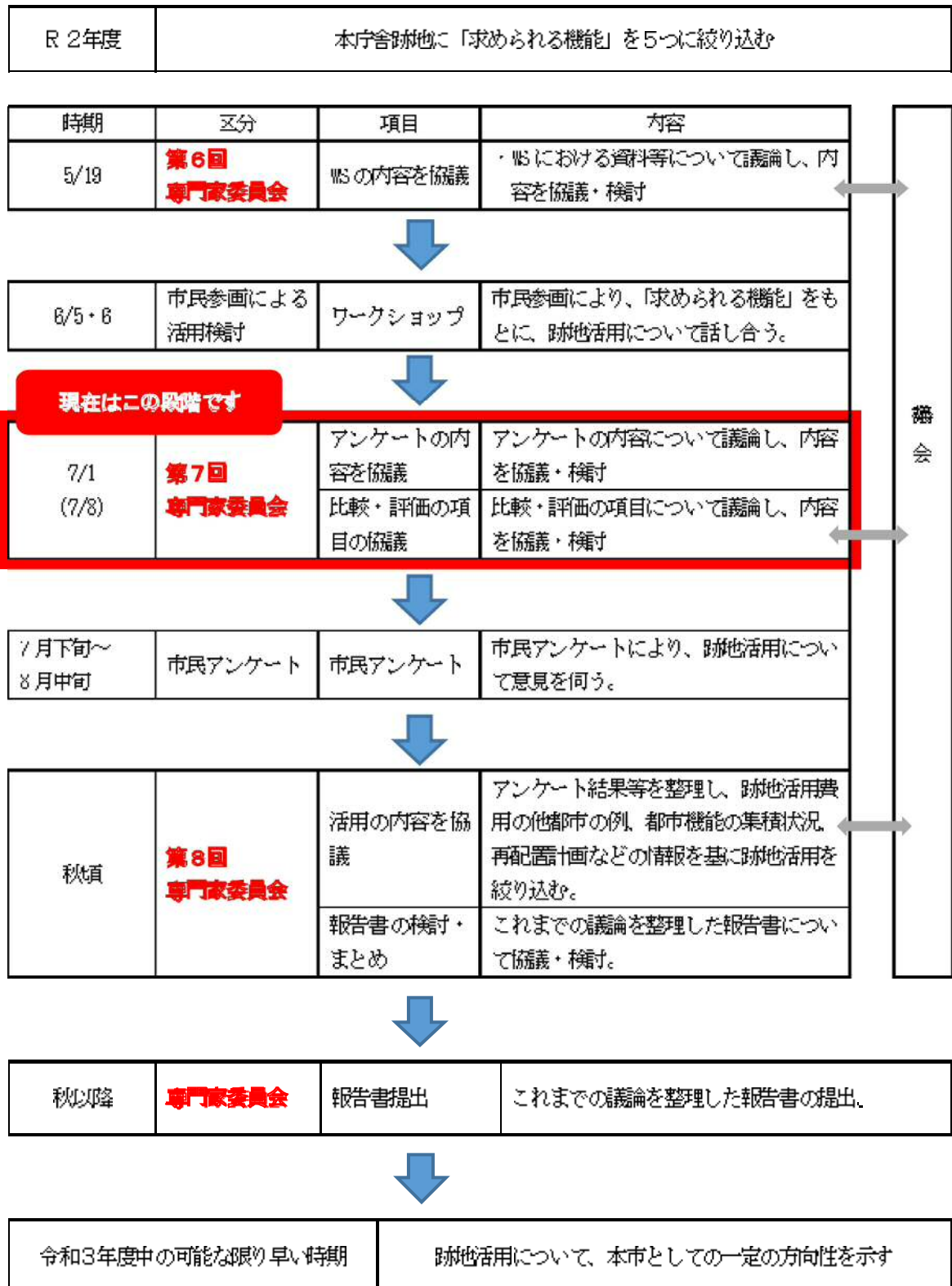
5 閉 会

「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」委員

【順不同・敬称略】

役職	氏名	所属	出欠
委員長	柳 年哉	公立鳥取環境大学 経営学部 教授	出
副委員長	福山 敬	鳥取大学 工学部 教授	出
委員	飯野 公央	島根大学 法文学部 准教授	出
委員	木田 悟史	公益財団法人日本財団 鳥取事務所 所長	出
委員	堤 洋樹	前橋工科大学 工学部 准教授	出 (Web)
委員	湯口 夏史	湯口一文税理士事務所 税理士	出

「一定の方向性」を示すまでの手順（予定）について



市民ワークショップについて

1 開催状況

開催日時	会場	参加者数
6月5日(土) 14時～15時30分	市役所本庁舎7階委員会室	11名
6月6日(日) 14時～15時30分	市役所本庁舎7階委員会室	11名

○男性:18人 女性:4人 ○平均年齢56.0歳(70代6人、60代4人、50代5人、40代4人、30代1人、20代1人、10代1人)

2 各班の提案

(1) 6/5(土)①班【5名】

機能	選択者数		跡地に必要と思う主な活用策
	メイン	サブ	
A 教育・学習・ 芸術・文化	3	0	美術館、音楽ホール(300人)、観光コンベンション機能と物産館機能、カルチャーセンター、美術館(展示機能)
B 医療・福祉・ 健康増進	0	0	-
C 憩いの場・ コミュニティ	1	2	多目的小ホール(イベント用)、子ども食堂(孤立化防止)、自由に出入りできる屋内スペース
D 娯楽・レジャー	0	0	
E オープンスペース	1	1	多機能コミュニティ広場、自由度の高い広場など、イベントなどができたりする広場

【班のまとめ】

①教育・学習・芸術・文化を充実するため、市民(コミュニティ)のための美術館を中心に、多目的ホールやイベント広場として活用します。

(2) 6/5(土)②班【6名】

機能	選択者数		跡地に必要と思う主な活用策
	メイン	サブ	
A 教育・学習・ 芸術・文化	2	2	ミュージアム、文化施設、多目的ホール、アート
B 医療・福祉・ 健康増進	0	0	-
C 憩いの場・ コミュニティ	1	1	芝生広場とし子育て機能を充実させる、移住・定住につながる活用、鳥取ならではのキーワード
D 娯楽・レジャー	0	1	映画館
E オープンスペース	3	0	市場、多様な活用

【班のまとめ】

①オープンスペースを充実するため、広場を中心に店舗しやすい工夫をした市場などとして活用します。

②教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、文化施設・市民ギャラリー、広場などを中心に市民の交流の場として活用します。

③教育・学習・芸術・文化を充実するため、ミュージアムを中心に鳥取の歴史、文化の発信の場として活用します。

(3) 6/6(日)①班【5名】

機能	選択者数		跡地に必要と思う主な活用策
	メイン	サブ	
A 教育・学習・ 芸術・文化	4	1	童謡・唱歌・マンガのコーナー、子ども喫茶+国際交流喫茶、こども文庫、童画の展示、楽器演習、スポーツジム、囲碁、将棋の常打室、総合防災教育研修センターの設置、市内の防災跡を巡るルートのスタート地点、市民会館を改装して文化的施設、いろいろな機能を統合、音楽ホール、小さな美術館、小さな図書館、映画館、遷喬・久松・醇風統合小学校、遷喬義務教育学校、NHK文化センター、多機能ホール(300人位まで)、コンサートホール、講演、映画
B 医療・福祉・ 健康増進	0	0	-
C 憩いの場・ コミュニティ	0	2	公民館、市立美術館
D 娯楽・レジャー	0	1	スーパーマーケット、プラネタリウム、天文台
E オープンスペース	1	0	子ども遊園(例：重箱緑地)、芝生のフリースペース
<p>【班のまとめ】</p> <p>①教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、子供たちの学びを中心に、環境学習や防災学習の場(総合防災教育研修センター)やこども遊園として活用します。</p> <p>②教育・学習・芸術・文化を充実するため、鳥取市ゆかりの文化人をたたえる美術館を中心として活用します。</p> <p>③中心市街地での住みよい環境づくりを推進するため、小中学校の充実強化やスーパーの誘致等に活用します。</p>			

(4) 6/6(日)②班【6名】

機能	選択者数		跡地に必要と思う主な活用策
	メイン	サブ	
A 教育・学習・ 芸術・文化	2	1	図書館、学校、若者の応援拠点
B 医療・福祉・ 健康増進	0	0	
C 憩いの場・ コミュニティ	1	0	人が集まる、滞在する場所
D 娯楽・レジャー	0	0	-
E オープンスペース	3	1	広場、花壇・ガーデン、多目的広場
<p>【班のまとめ】</p> <p>①教育・学習・芸術・文化及びオープンスペースを充実するため、若者の拠点・広場として活用します。</p> <p>②教育・学習・芸術・文化を充実するため、図書館として活用します。</p> <p>③憩いの場・コミュニティを充実するため、待つ空間・時間を使える空間(自由に使える空間)として活用します。</p>			

地域振興会議等でのご意見について

機能	跡地に必要と思う主な活用策
A 教育・学習・ 芸術・文化	小学校統廃合、市民会館と一体的な活用、県立博物館移転、芸術作品展示スペース、まんが図書館、音楽小ホール
B 医療・福祉・ 健康増進	健康増進スペース、日赤の活用
C 憩いの場・ コミュニティ	運動・会議のできる広いスペース、高齢者もくつろげる施設
D 娯楽・レジャー	
E オープンスペース	緑地、公園、広場、芝生広場
その他	駐車場、消防署、NHK、売却、企業誘致、スケートリンク、住宅など

市民アンケートについて

案(1)	OWSにおいて、 各班での取りまとめを基に、機能別に分類し選択肢を設定している。 ○さらに、専門家委員会の活用案も追加する。
(問) 次の内、あなたが活用策としてふさわしいと考えるものこ、最も近いものを1～13のうちから1つだけ選び、該当する番号に○を付けてください。	
A 教育・学習・芸術・文化機能の充実	
1 図書館として活用	
2 鳥取の歴史、文化の発信の場となるミュージアムとして活用	
3 鳥取市ゆかりの文化人をたたえる美術館として活用	
B 医療・福祉・健康増進機能の充実	
4	
C 憩いの場・コミュニティ機能の充実	
5 市民（学生等）が自由に使える施設（待つ時間・時間を使える空間）として活用	
D 娯楽・レジャー機能の充実	
6	
E オープンスペース機能の充実	
7 朝市・フリーマーケットなどが開催できる広場として活用	
8 カフェなどが併設された広場として活用（民間活用）	
【複合案】	
A 教育・学習・芸術・文化機能 + D 娯楽・レジャー機能の充実	
9 小学校統廃合用地やスーパーの誘致等に活用	
A 教育・学習・芸術・文化機能 + E オープンスペース機能の充実	
10 市民の作品も展示できる美術館・多目的ホールやイベント広場として活用	
11 市民の交流の場となる、文化施設・市民ギャラリー、広場として活用	
12 子どもたちの学びの場となる、環境学習・防災学習の場やこども遊園として活用	
13 広場が併設された若者の学習拠点施設として活用	
※赤字の選択肢は、専門家委員会の活用案である。	
※専門家委員会の活用案を追加する。	
活用策を選択された理由等、ご意見をご記入ください。	

案(2)

OWSにおいて、各案で取りまとめた活用策を基に、機能と活用策について、選択肢を設定している。

○さらに、専門家委員会の活用案も追加する

OWSにおいて、「B 医療・福祉・健康増進」を選択された方がいなかったため、自由記載としている。

(問) 次の内、あなたが活用策としてふさわしいと考えるものに最も近いものをA～Eの機能のうち1つか2つだけ選び、該当するものに○を付けてください。

また、どのような活用をされたいか、該当する番号に○を付けるか、選択肢にない場合は自由記載をお願いします。

- A 教育・学習・芸術・文化機能
- B 医療・福祉・健康増進機能
- C 憩いの場・コミュニティ機能
- D 娯楽・レジャー機能
- E オープンスペース機能

この中から1つか2つ
選んで○を付けて
ください

を充実するため、

【Aを選択された方】

- 1 小学校統廃合用地 2 若者の学習拠点 3 図書館 4 環境・防災学習の場
5 美術館 6 多目的ホール 7 市民ギャラリー 8 ミュージアム 9 歴史、文化の発信の場
10 その他 ()

【Bを選択された方】

- (自由記載)

【Cを選択された方】

- 1 市民(学生等)が自由に使える施設(待つ空間・時間を使える空間)
2 その他 ()

【Dを選択された方】

- 1 スーパーの誘致 2 その他 ()

【Eを選択された方】

- 1 イベント広場(出店しやすい工夫をした市場) 2 カフェ併設広場 3 交流の場
4 こども遊園(公園) 5 その他 ()

として活用します。

※赤字の選択肢は、専門家委員会の活用案である。

※専門家委員会の活用案を追加する。

案(3)	<p>○WSでのご意見を<u>基に</u>、機能については選択肢を、活用策については自由記載としている。</p> <p>○WSにおける個人の活用案により、例示を設定している。</p> <p>○さらに、専門家委員会の活用案も追加する</p>
-------------	---

(問) 次の内、あなたが活用策としてふさわしいと考えるものに最も近いものをA～Eのうち1つか2つだけ選び、該当する番号に○を付けてください。
 また、どのような活用をされたいか、下表「活用策の一例」を参照の上、ご記入ください。
 ※活用策の一例ですので、自由記載でも結構です。

<p>A 教育・学習・芸術・文化機能</p> <p>B 医療・福祉・健康増進機能</p> <p>C 憩いの場・コミュニティ機能</p> <p>D 娯楽・レジャー機能</p> <p>E オープンスペース機能</p>	<div style="border: 1px solid blue; border-radius: 15px; background-color: #4a86e8; color: white; padding: 10px; display: inline-block;"> この中から1つか2つ選んで○を付けてください </div>
--	---

を充実するため、

(自由記載)

として活用します。

機能	活用策の一例	
	WSでの取りまとめ・専門家委員会の活用案	WSでのご意見
A 教育・学習・芸術・文化	小学校統廃合用地、若者の学習拠点、図書館、環境・防災学習の場、美術館（展示機能、市ゆかりの文化人をたたえる機能等）、多目的ホール、市民ギャラリー、ミュージアム、歴史、文化の発信の場	カルチャーセンター、多機能ホール、音楽ホール など
B 医療・福祉・健康増進	—	—
C 憩いの場・コミュニティ	市民（学生等）が自由に使える施設（待つ空間・時間を使える空間）	公民館、イベントホール、自由に出入りできる屋内スペース、子ども食堂、移住・定住につながる活用、鳥取ならではのキーワード、人が集まる、滞在する場所 など
D 娯楽・レジャー	スーパーの誘致	映画館、プラネタリウム、天文台 など
E オープンスペース	イベント広場（出店しやすい工夫をした市場）、 カフェ併設広場 、交流の場、こども遊園（公園）	多目的広場、芝生広場、緑地公園 など

※赤字の「活用策の一例」は、専門家委員会の活用案である。

※専門家委員会の活用案を追加する。

比較・評価項目について

複数案について、これまでの住民参画による意見、専門家委員会での議論、議会調査特別委員会の意見・提言を踏まえ、評価項目ごとの評価結果に基づいて、機能や活用策等に応じ多様な観点から複数案の優位性を評価する。

○:効果がある、期待できる、評価する

△:普通

×:効果がない、期待できない、評価しない

評価項目		評価基準	案①	案②	案③	……
大項目	小項目					
1 全市民の財産であることへの公平性	①高次都市機能性	全市民が利用することができる活用				
	②公共性	利用者が特定（制約）されず、不特定多数の市民が利用できる活用				
2 にぎわい創出・地域活性化への貢献	③拠点性	若者の流出抑制・定住促進につながる活用				
	④集客性	市内・外から多くの人を惹きつけることができる活用				
	⑤回遊性	中心市街地の他の施設や資源と連携して、回遊性を創出することができる活用				
	⑥既存施設競合	既存施設との競合や、民業圧迫が懸念されない活用				
3 財政負担の軽減	⑦経済性	市の財政負担を極力少なくする活用				
	⑧収益性	民間活力の活用など、市にとって税収を含めた収益増加が期待できる施設				
	⑨柔軟性	将来の市民ニーズ、社会情勢の変化等に的確に呼应し、柔軟に利活用できる活用				
4 関連計画との整合性	⑩周辺環境との調和	周辺の歴史・文化環境と調和し、地域の魅力を高めることができる活用				
	⑪公共施設経営	40年間(令和 36年度)で、施設面積約 29% を目標とする公共施設経営（ファシリティマネジメント）への貢献が期待できる活用				

第7回 日本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会（議事概要）

- 1 日 時 令和3年7月1日（木）午前10時～11時50分
- 2 場 所 市役所本庁舎7階 全員協議会室
- 3 出席者 (1) 委員（Web会議1名）
柳委員長、福山副委員長、齋藤委員、木田委員、堤委員（Web会議）、湯口委員
(2) 事務局
高橋企画推進部長、河井経営統轄監、渡邊次長兼政策企画課長、平田政策企画課課長補佐

4 内 容

●委員長挨拶

今日は、WSの結果と、その結果を受けアンケートにどう活用するか議論をしていただければと思う。

●委員からの主な意見

(1) WS

- 委員 ただいまの説明に関して意見、コメントはあるか。
- 委員 WSの班分けは、年代別か、ランダムか。
- 事務局 年代別で分けた。1班が、年齢が高い方、2班が年齢の低い方である。
- 委員 差が出たのは、そういうところかなと思った。
- 委員 合計22名で意見はたくさん出なかった。年齢の高い方は、教育・学習・芸術・文化で、年齢が若い方はオープンスペースという形。
- 委員 市民は興味がないのではないか。それは広報の問題なのか。
- 事務局 募集中は、もう少したくさん来ていただきたいという思いがあった。結果として22名に留まった。コロナで敬遠された方もおられたと思う。広報の仕方もあったと思う。HP・市報・有線チャンネル・ラジオ・新聞広告等で広報した。ただ、残念ながら、こういった人数になった。分析は難しいが、WSは独特の空間。説明を聞く・意見を言うだけでなく、話し合いに慣れていない部分もあり、一歩踏み出すのに戸惑われたかなと思う。関心がないわけではないがWSにまで出て、意見を言うことには、少し戸惑われたという印象を持っている。
- 委員 WSの人数が少なく、A・C・Eの意見に分かれた。

(2) アンケート

- 委員 市民アンケートについて、参考例が載っている。アンケートについて意見をいただきたい。
- 委員 複合案が非常に重要だと思っている。選択肢が1つか2つにしてある。たくさん書けば発散し、そもそもの目的に反するという事で絞って聞かれると思う。ただ、A～Eで選ぶと複数になると思う。そういう意味で、複合案が選べるような方法がいいと思った。特に案1の複合案と書いてあるのは分かりやすいし、案2のように表になっていて、それをイメージして自分の複合案を書けるようなものもいい。案2は、選択肢が分断されている感じになっている印象。
- 委員 機能はA～Eが全部同列になっている。WSでは、A・Eが多く、B・Dは多くなかった。並列になっていることに対し意見はあるか。
- 委員 悩ましいところ。実際、WSの参加人数が少なかったもので、本当にこのWSの結果を受けて分類していいのかということがある。多少その辺の配慮が必要。せっきくのアンケートなので、今回WSにあまり多くの皆さんが参加できなかったことから考えると、サウンディングのような形にしてもいいのかなと思っている。先ほど委員から、「複合案について私ならこう考えます。」と書けることについて、大賛成である。ベースは、A・C・Eかも知れないが、この機能を重視しながらそこにどんなものを付け加えた複合案を、より具体的に書いてもらうのもいい。
- 委員 委員会の意見・活用例の1例を入れてみるのはどうか。

- 委員** 案1から3の中で選ぶのであれば案3がいい。案1に、その例示としてWSの意見そのものを選択肢として挙げてしまうことに違和感があった。事務局である程度、WSの意見を踏まえて整理したものをアンケートに落とし込んでいく。あくまで例として、掲載いただくのがいいと思った。それと、自由記載でサウンディングは非常にいいアイデア。加えて、AからEでカテゴライズされているが、それらが整備された結果、どういう状態を市民として望んでいるのか聞けないものか。つまり教育・学習・芸術・文化で、例えば何か図書館、ミュージアムを作りたいとWSの意見で出ているが、それができて何を期待しているか聞いてみたい。
- 委員** WSの結果は資料1、今回のWSについて、これはこれでいいが、今までの団体との意見交換会、市民WS、ストリートミーティングの意見はどうなったのか。今まで出てきた貴重な意見も反映するような形がいい。直前のWSの結果だけを反映させるのはもったいない。1個1個の作業工程ですごいエネルギーを使って、いい意見もたくさん出ているので、今回WSの参加者も少なかったこともあるので工夫があってもいい。このパターンだとアンケートに答える人が本気で答えてくれるか心配。「例えばあそこの跡地に今夜、何かが完成するとして、明日行きますか。」というリアルな話で具体的に聞く。いろんな人が関心を持っているが他人事ととらえている人が多いと思う。WSはハードルが高いついていうのがあると思う。思っていることがあっても言わなければ思っていないことと同じになってアウトプットできない。もしかしたら、選ぶっていう欄と、自分だったらこれができたら明日行くとか、こういうものがあったらこう利用するとか、自分事として考えるような欄があったらいいと思うので、案1のフリースペースはあった方がいいと思う。
- 委員** このアンケートをどう使うか。数が多いアンケート結果を受けてどうするのか。WSの結果をアンケートに生かすのであればWSは必要。アンケートの結果は参考というのであれば、また全部見直しをかけ、なかなか絞れないというか方向性が見えない。どうするつもりか。
- 事務局** WSでいただいた意見を参考にアンケートを作成している。このアンケートでは、〇〇機能を充実するため、●●として活用するというアンケートが戻ってくる。それらを整理し、案をいくつかに整理していただきたい。その整理したものを比較評価し、最終的には、専門家委員会の皆様の意見としてまとめていく流れを考えている。
- 委員** まとめるとは結果を参考にするということか。比較するのであれば、項目を決めておいた方がいい。
- 事務局** 資料3で、比較評価項目を示している。アンケートをする前にこの評価項目で、比較検討したらどうだろうという事務局の案、議論の余地はある。最終的な比較評価項目にしたい。アンケートのまとめ方は、基本的には、市民の皆さんの意見をベースにまとめたいと思っているが意見があれば、お伺いできればと思う。
- 委員** 資料3①について、市民の皆さん使えるものとしか言いようがない。アンケートで整理すれば聞く必要は無い。秋以降、整理して報告書を提出するとあるがどこまで整理するのか。また明確ではなくできる範囲でだと思いが、機能までか具体的な活用策もか、それによりアンケートでどこまで聞くかという話だと思ふ。進め方で案1か2かが決まるがいかかか。
- 事務局** 活用策を示すことになるので、ある程度、方向性と活用が具体的に見える形にしたいと思っている。となると、例えば、「教育・学習・芸術・文化機能を充実するために図書館として活用」ぐらいまで、市民の皆様にご提案していきたいと考えているので、そういうアンケートにしていくと考えている。
- 委員** 必要な施設という表現が、WSでは充実したらいいという表現に変わってきている。図書館という項目に対して必要かどうか、小学校統廃合用地が必要かどうか答えは出ると思う。今、機能はあるが、さらに充実させたいという位置付けか。
- 事務局** 小学校の機能の充実という部分は、将来を見据えた上で、地域の住民の方の意見だった。ゆくゆくは、小学校統廃合が必要になってくるのではないかという想定、考えを持っておられた。

10年、20年先の将来を見据えた意見だった、今の学校の充実というより将来、小学校統廃合用地として残しておくのはどうだろうという意見だったと思う。

○委員 それを市はどう考えているのか。必要か必要ないか答えた方がいい。小学校についてはどうか。
■事務局 個人的な意見として、あそこの用地 8000㎡で、小学校、グラウンドを考えると難しいのではないか。ただ、これは個人的な意見で、教育委員会と整合がとれてるわけではない。教育委員会も将来的には統廃合は、市内各地域で進んでいくということは考えているのは確かだと思う。

○委員 各課に確認した方がいい。単体の機能で整備するのは、この時期あり得ない。A B C D Eと大きく分けているが複合案でなければできないと思う。1つに○を付けてしまうか、逆に、何でもいいよとなれば全部に○をつけかねない。図書館という意見が多かったら、図書館をメインに、他の機能を入れる感じだと思う。入れる機能を先に整理しておいた方がいい。案1で自由記載欄を大きくしておくのがいい。BとDは無くしてもいいのかなど思っている。残すのであればこれまでの意見も拾ってあげた方がいい。

■事務局 委員からお尋ねのあった小学校の統廃合のことについて、教育委員会には、また確認するが、現在、教育委員会としては校区再編を、これから子供たちが減っていく中で、全市的に考えている。そして基本的な案を今出されて地域に説明している現状がある。当然、中山間地もあれば、この中心市街地の学校についても、将来的な児童予測によれば、減っていくと予想されている。ただ、統廃合については、それぞれ地域の皆さんの声、そして保護者の方の声もしっかり聞きながら、地元でしっかり話し合いながら進めていくという考え方でやっているの、時間をかけながら、教育委員会としても取り組んでいくというのが、鳥取市の基本方針と考えている。また教育委員会には確認をさせていただきたいと思っている。

○委員 教育委員会の話だけでなく、他の項目も確認してもらいたい。スーパーの誘致とかいろいろある。正直スーパーの誘致は完全に民間寄りの話であり、市として土地を提供するくらいしかない。そもそも、そういうことができるのかどうかというところ。可能性の確認、可能性が無いものはこういう理由で入れないということをは是非ご検討いただければ。

○委員 自由記載のスペースを大きくした方がいいという意見もあったが、活用例を絞る段階にきているので、例えばAからEまでの中で、BとDは外してもいいのではないかという意見もあった。WS は人数が少ないので、これを全体として考えるのかという話もある。機能は、A、C、Eが多かった。WS の結果だけを見ればそうだが、複合案という意見も出ている。委員の方の中にはオープンスペースという意見もあったが、防災機能を備えたオープンスペースに例えば健康増進の機能を加える、例えばコミュニティの機能を加えカフェを併設するなど、オープンスペースに何かするというふうにならっていくというのものもある。我々も活用例を考えて、市民の方の活用例も入れられるように自由記載のスペースをたくさん取って、絞っていったほうがいいかなど思う。

○委員 私個人は、災害時に避難所として運用できることを前提としたオープンスペースに、色々な機能を付加していくのがよいと考える。一つは、できるだけ多用途に使えるようなオープンスペースで利活用を考えていくという方向性と、もう一つは、Aのように何か施設的な物を作ってそこに他の機能を加えて維持していくという大きく二つの方向性が出てくるのかなど思う。もし、分けるとするならばこういう分け方ができて、それぞれにどういう機能を付加していくと皆さんが思うような跡地の使い方ができる、というような聞き方ができるのではないかと。

○委員 AからEを見て今更だが、A BとC D Eとではちょっと性質が違う。教育学習芸術文化とか、医療福祉健康増進というのは、何かしら課題があって、それを解決するために充足するものではないか。例えば、Aでいうと現状鳥取市に社会教育施設、図書館、博物館などあるが、それらでは不十分なのでそこを充足させていく、Bでいうと医療福祉が足りないのそこを充足させていく、もしくは今足りなくないが、20年後30年後に足りなくなるので必要だという考え方もあるかもしれない。A BとC D Eはレベル感が違うような気がしている。CからE

に書かれてある内容は、ここで議論するというよりむしろ、これから設計やデザインの過程で事業者と話をする中で、どういう工夫ができるかを話していけば幾らでも工夫のしようがある気がする。アンケートの取り方として、このAからEで選んでもらうやり方がいいのかどうか。AからEは並列的に意見を聞くのか、もうちょっと強弱をつけて聞くのか、アンケートの内容についてご意見いただきたい。

○委員

系列で並べてあるとイメージしにくい。並列ではない聞き方で、カテゴリで分けるのであれば、建物あり、建物なしなどの方が答えやすいと思う。最後は公共施設を将来的に減らしていくという話にも繋がっていく。市民の方がそこまで頭に入れて意見を出さなくてもいいとは思いますが行政サイドとしては建物を建てるか建てないかというのは大きいと思う。本当に市民の方が望んでいることを聞くのであれば、並列で聞かない方が本心を引き出せるような気がする。

○委員

○委員

今の話は建物、施設を作るか作らないかに大分類をして、それぞれ、作る、作らない場合の機能を絞ってアンケートをするとイメージ的にそんな感じあると思うがいかがか。

○委員

私も、作る、作らない、の分類はいいと思ったが、本来は必要な機能を整理して、自治体が整備すべきなのか、民間で整備してもらうのかということ。今回は、必要でなければまずはゼロベースで広場を整備する、それが第一歩階だと思う。その次に必要でないのなら、民間を誘致して整備してもらう。それでもダメなら自治体が公共施設を作る、みだいな整理になる。多分最後の公共施設を作るというのは、今回は必要無いかと思うが、どうしても必要でここだけは公共として譲れないというものがあれば、きちんと整備してもらわないといけない。それは頼ものになっていいと思う。アンケートとか、WSで今までも必要ないものについて出たが、それが全部消えてしまっているのが気になる。最低ラインで防災のための広場を作る、からスタートして、必要に応じてということを感じるようなアンケート。それが必要かどうか聞いた方が私はいいと思う。

○委員

民間の話になると、民間が手をあげなければ、また元に戻ってしまう。民間の資金を入れるという話になると決め打ちをしないといけないという気はする。

○委員

聞き方は難しい。私の方で考えたのは、やっぱり今の時代キーワードとしてガーデンシティやウォークアブルシティ、生物多様性とかSDGsとか、そういう中で、少子高齢化の地方都市として暮らしやすい健康的なイメージを持たせる。あのエリアで生きていく、存在していくということを考えたときに、やっぱりイメージで出てくるのは、オープンスペースで、緑地で、公園で、多様な人がそこに行けて、安心して暮らしやすい地域の一つのシンボリックなものができるというイメージ。他の建物も作るという複合案は私の中では当てはまらないので、これを足してほしいと言えない。それぞれの先生方が思っておられるイメージを出して、その他鳥取市が考えるこれが必要と施設も入れて、自由記載のところを書きやすくする。先ほど言われたどれぐらい使うか聞くのは効果あるなど私も可感で、他人事でなく本気で答えてくれると思う。

○委員

論点が二つある。まず施設を作るか作らないかということ、あとはオープンスペースをベースに、AからEの機能を付け加えるか。先ほどの小学校の話と図書館については、現実的でなければ、説明を十分にしてアンケートから外す。ただ、自由意見のところを大きくして、必要だというものは書いてもらえばいい。このようなアンケート案について何かあれば意見がほしい。

○委員

正直言って、市民の皆さんも我々もこれだという決定的なアイデアがない。となると、そういう状況の中で、安易に何かを作る、建物を作るのは避けなくてはいけないと思う。しかも、鳥取市にとってはそれが将来的に負担になる可能性は十分あり、そういうリスクも下げた方がいい。一番のベースは防災機能で、ただ空き地でいいのかと言うと、それは意味がないので、先ほど副委員長が言われたような今のSDGsをはじめとした社会の要請に従ったようなものを機能に入れるのもいい。僕自身は、簡易でよいので避難所生活が本職できるような簡便化した施設にして、いざ何か起きたときはそのまま避難所として使え、防災の基地になるものがいい。それができれば、鳥取市内を初め、鳥取県の色々な地域の皆さんに避難所生活を実際に体

験してもらうこともできる、それは、教育施設にもなるし、小中学校の修学旅行の体験学習の旅行プランとして将来結びつけるなど広がりもある。アウトドアメーカー、防災グッズの企業も、商品を実際に使ってもらって、よさを分かってもらいイベントも開くなど民間企業も巻き込むことができる。同時に、日赤があるので、患者の憩いの場やリハビリの空間にも広場であればできる。あとはもう一つ大事な点は、きちんと駐車場を整備して、普段何も無いときにはその駐車場からきちんと収入を得るということ。整備してコストだけかけるのではなく、一定程度収益を上げられるような構造を付加する。では、具体的にどうするかという時に、サウンディングという形で、市民や民間企業を含めた様々な人たちから、どういったアイデアを持って盛り込んでいくと、最も効果的で費用が少なくていいかというようなことをやっていく。あまり大きな仕掛けになくとも有効活用が図れるのかなと思う。

○委員 施設については作るか作らないかっていう選択肢は難しい。どういうアンケートあれば意見が集約できるか、情報集まってくるか、具体的な話をお願いしたい。

○委員 委員がおっしゃられた必要かどうか、もしくは必要度という形で聞いていくのはすごく有効だと思う。

○委員 委員、一貫して、最初から必要、不必要、民間活用ってことは通して言われている。私も既存の建物は市に限らず、県の建物も有効に使って、それで不満があるのであれば上手く使って、それを見直す絶好のチャンスだと思っている。専門家委員会の活用案を追加するとあるので、そこで我々の意見がどう取りまとめられるかは別として、それを上手に活用して、市民の方にイメージをしてもらおう。そういう聞き方もできればよい。

○委員 今まで意見いただいたものを1回市で整理して、できる範囲を示した方がよい。例えば、図書館にしても美術館にしても跡地の場所だけの話ではない。つまり、図書館は貸出機能だけを整備するみたいな話もできる。その敷地だけ、その場所だけじゃなく、その周りとの関係で地域が盛り上がらないといけない。人が集まる施設が出て、商店街が全滅して誰もいなくなることも起こりうる。周辺環境との関係性を見ながら整備する必要がある。図書館、美術館だったら近くの商店街のカフェを使ってもらえばいいという話になる。何かが充実するのはいいけど誰が負担するか。駐車場は浜松市では、全部有料にしていく流れがある。鳥取市にできるかどうかはまた別であるので議論が必要である。私は、公共としては、必要な防災機能をセットする、これに対して人が集まる場所、市民が自主的に活動できる場所をセットする、それに民間が入って経済活動の活性化を目指す、ただし、何をいれるかわからないのでサウンディングをかける。この委員会で、提言書として、できるかどうかということにかかっている。やはり絞り込む作業で、市からある程度回答しながら、やりとりしながら、絞り込んでいってそれについて何うという整備をした方が私はいいと思う。

○委員 アンケートについては絞り込んで市民に示すのが現実的ではないか。これについていかがか。

○委員 確認だが、これまで機能のアンケートをとって、その上位、というか下位でない部分を拾い上げる作業をしてきた。今回は活用策のアンケート、フリーハンドで聞こうと思えばいくらでも出てくる。機能を絞り込んで、その中で活用策に対してどう思っているのか聞く、というところに立ち戻った。

■事務局 委員のおっしゃるとおり、今まで市民の皆様からお話を伺って、機能を絞り込んできた。活用策を今後出していく上で、市民の皆様の意見聞きながら、専門家委員会の皆さんの意見もその中に含めながら、この度の市民アンケートという形になってくると考えている。逆に専門家委員の皆さんの意見を聞きながら、アンケートをどういった形にするのかというのを今議論させていただいているところ。

○委員 後戻りできないような施設ではなく、オープンスペースに防災機能を備える。先ほど委員がおっしゃったような体験施設をつくり、そこに民間や有料駐車場からの利用料等が入れば、市の財政もある程度助かるのではないかというご意見であった。そういう具体的な活用案を参考例

として示しながら、市民の皆さんの意見を伺う。また、A～Eについて意見を書いていただく場合は、上から順番にA～Eの選択肢を並べるかどうか、もう1度検討しなければならない。最後の評価項目については、案を三つに絞り込むのであれば、三つに絞るためのプロセスを踏まなければならない。市民の方の意見を集約できるアンケートにしてほしい。選択肢を絞り込み、要らないものについてはこのような理由で案に挙がっていないということを市民の方に示す。それでも市民の方から欲しいという意見があれば、自由意見等に書いていただく。そのような工夫をしながら、アンケートを作ってほしい。

○委員

個人的にはアンケートは不要だと思っている。昨年度のアンケートで伺った意見も含めて、現在、恐らく相当な意見が出ている。再度、アンケートで意見を聞くのであれば、選択肢を絞り込まないといけないと思う。ある程度、市として、それぞれの選択肢について実現できるのか判断してほしい。また、A～Eで聞くのであれば、B・Dは自由意見で伺うという形にして、A・C・Eの選択肢に絞り、さらにEの選択肢については、専門家委員会の意見でもあるため、順番を一番上にする。個人的には、Eについては議論を行う必要がなく、一番議論しないといけないのは、A・Cの機能が必要かどうか、その機能を組み込めるかどうかだと思う。それに対して、自治体として施設が必要かどうか、民間にお願いできる内容であればそのように誘導するような仕組みにした方がいい。そうすると議論する部分が限られてきて、整理しやすいと思う。

○委員

アンケートについて他に意見はあるか。

○委員

アンケートをどうしてもやらなければならないということであれば、これまでの議論の中で、最初に絞った機能から、どのような活用方法が考えられると想定されるかをまとめる。それを今度は、市の条件でふるいにかけて、「これは今すぐやらなくてもいい」「これは市としても重要な課題である」というような整理を行う。これまでの議論の整理と市民への情報提供を行い、その上で、次のステップについて市民の方に選択してほしいことという形でアンケートを取った方が良く、こうすることで、アンケートのフィードバックもでき、我々としても、ある程度絞った中身について、市民の方がどういう評価をしているか確認することもできる。

○委員

このタイプのアンケートは、鑑文などの説明資料が必要であり、その中で、これまでの議論の経過や市の方向性のある程度示さないとアンケートのしようがないと思う。

○委員

委員がおっしゃられているパターンであれば、返事は求めないアンケートにもなるということか。

○委員

我々の方から方向性を出すような形になるが、それに対して、市民の皆さんはどう思っているのか、同時に、抜け落ちていることがあれば返事をくださいといった形のアンケートになると思う。

○委員

先ほど委員を中心に言われていたのは、市の方で、特に施設が必要な住民サービスで、市民の方がどう考えているか知りたいというものを残しておき、それに専門家委員会の活用策を入れ、選択肢を1つにし、違う意見であれば書いてくださいというイメージに近いが、

○委員

選択肢を1つにするか。また、例という方法もあるので、私のイメージではどちらかになると思っている。

○委員

例えば、図書館や美術館を望んでいる意見があり、その活用策もあり得るということであれば選択肢に入れる。私自身にこの選択肢はないが、選択肢として当然聞かないと分からないので、あえて選択肢として入れ、別の意見があれば自由記載の部分で聞く。

○委員

アンケートについては、そのように絞り込み、オープンスペースを中心として、防災機能や活用例の多かったA・Cについて、小さい施設を作る必要があれば参考例として例示をする。市民ワークショップの参加者は22名であり、活用策が少ない。昨年度の市民アンケートで機能を絞り込んだ時に、活用例もたくさん書いていただいたので、それも踏まえながら活用例を示し、市民の方に自由意見を求める。まずは、アンケートの過程や unnecessaryな施設についての説明を行

い、アンケートに繋げる、再度、市の方でまとめていただく。

(3) 比較・評価

- 委員 この資料はたたき台であり、内容はもう一度検討される。これは、活用案について、全ての市民の方が利用できる・財政負担が少ない等の様々な項目で、「○×△」の評価をつけるものである。これ以外の評価項目・方法について意見があればお聞きしたい。評価項目について、こういうことをやらなくてもいいという意見もあれば、あわせてお聞きしたい。
- 委員 こういう評価リストがあった方が、多角的に評価できるのでいいと思う。案①～③について、これはどの時点でのどんな案をイメージしているのか。今回のアンケートで聞いた結果なのか、それとも複合案を専門家委員会ですらまとめた案なのか、また別のものか。
- 事務局 アンケートの意見をまとめたものを案①～③というような形で出し、その中で、専門家委員会で、各案をご議論いただきながら、案の中から選択していくことを想定していた。
- 委員 専門家委員会で意見をまとめて、案①～③を作るということか。
- 委員 結論の順番で案①～③を決めるわけではなく、公正的な判断を入れ、案を3～4つに絞る。
- 委員 例えば、図書館について意見が多ければ、図書館について①～⑩の項目をチェックしていくということか。それならば分かりやすいが、専門家委員会でアンケートの結果を受けて整理し、いくつか案をつくるという方法であると大変だと思うが、事前に案をつくらないのか。
- 事務局 事務局の方でアンケートの結果を整理し、案①～③という形で挙げ、専門家委員会で評価項目について議論していただくことを想定している。
- 委員 市の方でアンケートの結果をまとめて、案を示してもらえということか。
- 事務局 お見込みのとおり。
- 委員 それであれば良いと思う。専門家委員会でチェックするのではなく、事前に市でチェックできるものがあるのではないかと考えている。市でチェックする項目と、専門家委員会でチェックする項目を分けていただければと思う。
- 委員 市の方で整理したプロセスを説明していただき、案を絞っていただいて、それを専門家委員会で評価項目に基づいて論議するということになる。

(その他)

- 委員 今の議論を踏まえて、アンケートの内容を整理し、市民の方に過程を説明する資料を準備していただく。7/8の専門家委員会でアンケートの内容をまとめなければならないが、それまでに資料を準備できるか。
- 事務局 努力する。
- 委員 言葉で議論をするのも大事だが、市民の皆さんにイメージを伝える時は、スケッチのようなものがあって方がイメージしやすく、意見が言いやすくなる。どこかの段階で、イメージを示すことができればいいと思うので、検討していただくと嬉しい。
- 委員 文章だと、恐らくあまり読んでもらえない。そのため、文章は短くコンパクトにし、ドキュメントで見せる方法が望ましい。難しいと思うが、工夫していただきたい。
- 委員 案①～③を提案していただく時に、ある程度イメージがないと提案ができないと思う。これくらいの広さ・規模のものなどのイメージがないと、それぞれのイメージになってしまう。できれば、簡単なものでもいいと思うので、イメージを示せばいいと思う。は
- 委員 一応、来週に向かって、事務局で準備をお願いできればと思う。
- 事務局 本日はありがとうございました。本日の専門家委員会は終了する。